

# 食品監視センターだより (第252号)

令和6年3月号



こんにちは。こちらは仙台市中央卸売市場内で食の安全を守る食品監視センターです。

暖かい日が続いていたと思ったら急に気温が下がったりと、寒暖の変化が周期的に現れる時期になってきました。寒い日が3日程続き、その後4日間程度暖かい日が続くことを指す「三寒四温」という言葉が思い浮かんでくるかもしれませんが、この言葉はもともとは中国の冬の気候を表すものなのだそうです。日本においては、冬に「三寒四温」のような寒暖の周期が現れることはほとんどありません。しかし、早春には低気圧と高気圧が交互に訪れることにより周期的な気温変化がみられるため、日本では「三寒四温」は春先に用いられることが多いようです。

このような寒暖差に加え、春は新年度に向けて環境が大きく変化することがあるため、心身に不調をきたしやすい時期です。感染症の流行もピークを越えたように見えますが、収まったとはいええない状況です。また、全国的にノロウイルスによる食中毒や集団発生も見られています。

生活リズムを整えるなど健康管理に努め、新年度を元気に迎えたいものですね。

## 2月の検査結果

食品分類	検査項目	検体数	違反等の数	備考
魚介加工品(魚卵)	生菌数、大腸菌群、黄色ブドウ球菌、腸炎ピブリオ、合成着色料、発色剤(亜硝酸根)	4	0	
野菜・果物	残留農薬	8	0	葱(宮城県産)、ピーマン(高知県産)、菜花(宮城県産)、りんご(青森県産)、甘夏みかん(熊本県産)、伊予柑(愛媛県産)、ぶどう(チリ産)、南瓜(メキシコ産)
生かき	生菌数、E.coli最確数、ノロウイルス	8	1 ※1	荻浜湾×3、宮城県海域×2、石巻東部、宮城県海域7、女川湾
二枚貝	麻痺性貝毒	4	0	ホタテガイ×2(根室海峡、太平洋西部)、ウバガイ×2(仙台湾南部、苫小牧)
魚	放射性物質検査	10	0	※2

※1 2月27日に収去検査を行った4検体のうち1検体がノロウイルス陽性でした。  
採取海域：宮城県海域7

※2 検査品目に関しては仙台市HP「流通食品の放射性物質検査について」を参照  
URL：<https://www.city.sendai.jp/shokuhin/kurashi/anzen/ese/kensa/shokuhin.html>



## 2月のふきとり検査結果

2月はふきとり検査は実施していません。



### 今月の豆知識のお時間



#### 241 時間目：春キャベツ

今回は今が旬の春キャベツをご紹介します。

キャベツは1年中手に入る野菜ですが、季節によって品種や産地が異なります。春から初夏にかけて出回る春キャベツは葉が柔らかく、巻きがゆるく内部まで黄緑色、そして軽いのが特徴です。



キャベツは美味しいだけでなく、栄養価がとても高い野菜でもあり、ビタミン類を豊富に含みます。ビタミンCは皮膚や粘膜の健康維持などに、ビタミンKは止血や骨の健康維持などに関わりますが、どちらもキャベツに豊富に含まれます。食べる際には、ニンジンと組み合わせることで美肌効果が、牛乳と組み合わせることで骨粗しょう症予防効果がさらに向上することが期待できるそうです。また、S-メチルメチオニンというビタミン様物質も含まれており、胃の粘膜の修復を促したり過剰な胃酸の分泌を抑えたりすることから、胃潰瘍の予防・改善に効果があるといわれており、多くの胃腸薬にも配合されています。ただし、ビタミンCやS-メチルメチオニンは水溶性のため水にさらしすぎると流れ出てしまう、熱に弱いといった特徴があります。そのため、効率的に摂るには生食がおすすめです。春キャベツは葉が柔らかく生食向きなので、サラダにしたり、揚げ物に添えたりして美味しく食べることができます。



3月は送別会などでお酒を飲む機会も多くなり、胃にかかる負担も大きいかもしれません。春キャベツを積極的に食べて健康に過ごしましょう！



## 違反・不良食品指導状況

2月は表示不備食品 2 件（マフグの身欠、トラフグの精巢）の改善を指導しました。

	発見場所	表示不備食品		取扱い不良食品		規格基準等違反食品		有毒・有害食品		
								魚介類	植物	その他
発見・指導件数	市場内	2	魚介類×2	0	—	0	—	0	0	0
	市場外	0	—	0	—	0	—	0	0	0

◇◇お問い合わせ◇◇

仙台市食品監視センター 電話：022-232-8134 FAX：022-232-9005

食品監視センターホームページもぜひご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/shokuhin/kurashi/anzen/ese/kanshi/index.html>

